

子ども・子育てワークショップの実施について

1. ワークショップの考え方について

(仮称) 子ども計画の策定にあたり、市民の意見を取り入れながら、子ども・子育て会議で施策の検討を行っていくため、7月から8月の間に子ども・子育てワークショップを実施する。

(1) ワークショップ開催のねらい

- ① 地域における課題や今度求められる子ども・子育て支援施策について、市民へのアンケート調査では把握できない意見をお聞きする。
- ② 子ども・子育て支援を地域・家庭・行政がともに進める視点からそれぞれの立場から取り組めることについての提案・意見をお聞きする。

(2) ワークショップの実施形態と目的

ワークショップについては、4種類の形式での実施を検討し、各ワークショップの目的等は以下の通り。

①地域別ワークショップ

- ・子ども・子育て支援事業計画では、市域を中学校区を基本とした4つの区域に分割している。これらの区域と共通の区域における課題等の抽出が望ましいと考えられる。
- ・そのため、地域別ワークショップについても4つの区域ごとに開催し、子どもや子育てを取り巻く状況や課題等を把握する。

②子育て支援者等のワークショップ

- ・市内でつどいの広場等で子育て支援を行っている人や保育所・幼稚園等の保育士や幼稚園教諭などから保護者の状況や子育て世代を取り巻く課題等を把握する。

③校区まちづくり協議会の子ども・子育て支援に関わる人の活動報告と意見交換会

- ・各校区の子ども・子育て支援にかかわる活動の報告と今後の方向性に関する意見交換を行い、地域での子ども・子育て支援の方向性を把握する。

④中高生のグループインタビュー

- ・市内の中高生から中高生を取り巻く環境等を把握

2. 各ワークショップの概要について

(1) 地域別ワークショップ

対象	子育て世代、地域の人など
人数	50人程度
議論の方法	1テーブル 8人前後に分かれて意見交換 各テーブルの司会、書記、発表者などは参加者の中から決める
意見交換の テーマ(案)	・子育て関連の情報を市民に届けやすくするためには ・子どもの遊び場の環境 ・子ども・子育て支援新制度に期待すること など
開催日時 所要時間	平日；夜間 土日祝日；午前 など市民が参加しやすい時間帯 所要時間は約2時間

※4区域ごとに各1回ずつ実施を想定。

(参考) 西部地域・・・成法中、八尾中、久宝寺中、桂中、高美中校区
 東部地域・・・高安中、南高安中校区
 中部地域・・・上之島中、曙川南中、曙川中、東中校区
 南部地域・・・亀井中、龍華中、大正中、志紀中校区

(2) 子育て支援者等のワークショップ

対象	市内でつどいの広場等で子育て支援を行っている人 市内の保育士、幼稚園教諭 等
人数	30人程度
議論の方法	1テーブル 8人前後に分かれて意見交換 各テーブルの司会、書記、発表者などは参加者の中から決める
意見交換の テーマ(案)	・情報が届けにくい人へ適切に子育て関連情報を届けるために ・必要な在宅支援サービスの在り方 ・子ども・子育て支援新制度に期待すること など
開催日時 所要時間	平日；午後・夜間 土日祝日；午後 など参加しやすい時間帯 所要時間は約2時間

※市域全体として実施。1,2回の実施を想定。

(3) 校区まちづくり協議会の子ども・子育て支援に関わる人の活動報告と意見交換会

対象	各校区の子ども・子育て支援にかかわる活動の担当者 等
人数	30人程度
各校区の活動発表	各校区の子ども・子育てに支援に関する活動報告(1校区2分程度)
意見交換の方法	1テーブル 6人前後に分かれて意見交換 各テーブルの司会、書記、発表者などは参加者の中から決める
意見交換の テーマ(案)	・今後地域で実施したい子ども・子育て支援に関する活動 ・地域で求められる子どもの居場所 など
開催日時 所要時間	平日；夜間 土日祝日；午前 など参加しやすい時間帯 所要時間は約2時間

※市域全体として1回実施を想定。

(4) 中高生のグループインタビュー

対象	市内の中高生
人数	20 人程度、中学生・高校生に分けて実施
グループインタビューの方法	1 グループ 6 人程度 各テーブルの司会進行は MURC が実施
意見徴収の項目 (案)	・ 将来の八尾の理想の姿 ・ 将来つきたい職業などを考える際に必要な支援 ・ 中高生の居場所 など
開催日時 所要時間	夏休みの夕方、土日祝日 など参加しやすい時間帯 所要時間は 1 グループ約 1 時間

※中学生、高校生それぞれ 1 回実施を想定。